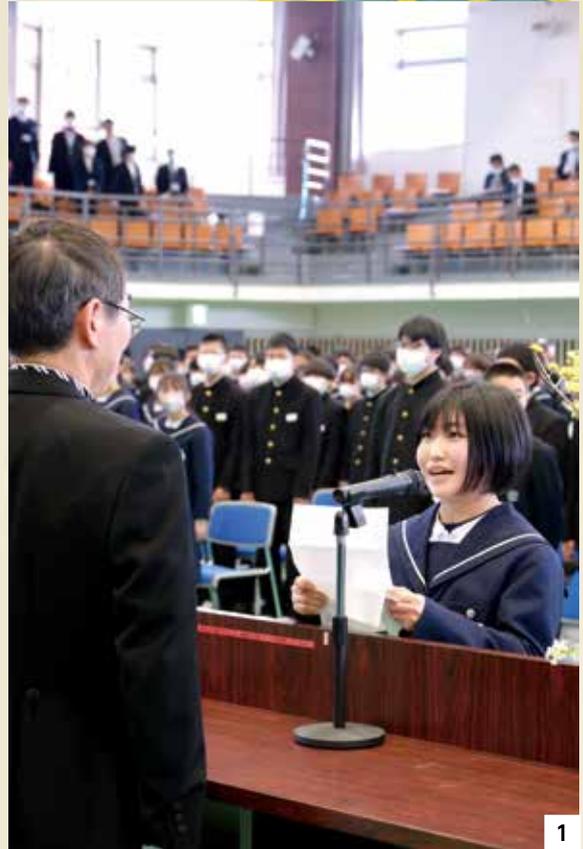


# 立志式



2



1

## 大人としての 自覚を深める



4



3

### 大人になる決意

1月30日<sup>㊤</sup>、令和5年度伊達市立志式を保原体育館で開き、市内中学2年生409人が出席しました。

この式は、昔の『元服』<sup>げんぷく</sup>の年齢にあたる中学2年生を対象に、自らの将来の決意や目標などを明らかにし、大人になる自覚を深めることを目的に、毎年実施しています。

伊達市青少年育成市民会議会長を務める須田市長は「お互いの違いを認めるということは、自分自身を認めることにつながります。ありのままの自分に自信をもって堂々と生きていってほしいです」とあいさつ。生徒代表の引地ほの香さん<sup>ひきちかのか</sup>（霊山中）は「周りに笑顔と幸せを与えられる大人を目指し、今を大切に生きていきます」と誓いの言葉を述べました。

### 音楽で学ぶ「時代」

式典と併せて行った芸術鑑賞会では、東北初のプロオーケストラである山形交響楽団がすてきな演奏を披露。バロック時代から現代音楽まで、歴史の流れに沿って代表的な曲が演奏されました。生徒たちは音楽を通して歴史に触れ、思い出に残る式となりました。

### げんぷく 元服とは

現代では聞き慣れない言葉ですが、奈良時代以降で成人を示すものとして行われた儀式・通過儀礼です。15歳になると一人前の大人として扱われ、幼名を元服名に変え、両親の仕事を手伝うようになりました。

1. 誓いの言葉を述べる引地ほの香さん / 2. 須田市長から立志証書を受け取る / 3. 凛とした顔で臨む生徒の代表 / 4. 大人への一歩を踏み出す生徒たち / 5. 心に響く山形交響楽団の演奏 / 6. プロオケを指揮する貴重な経験

## 演目『タイムトラベル』 ～時代によって変化 してきた音楽の形～



6



5